

Mizuho Daily Market Report

2024/2/1

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.67	146.92	▲0.69	▲0.59
EUR	1.0817	1.0818	▲0.0027	▲0.0067
AUD	0.6573	0.6568	▲0.0034	▲0.0009
SGD	1.3406	1.3408	+0.0015	+0.0011
CNY	7.1811	7.1689	▲0.0089	+0.0109
MYR	4.7307	4.7330	+0.0057	+0.0015
THB	35.48	35.47	+0.10	▲0.21
IDR	15797	15780	+0	+70
PHP	56.30	56.30	▲0.11	▲0.02
INR	83.06	83.04	▲0.07	▲0.09
VND	24418	24425	+12	▲157

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.912%	▲12.0 bp	▲26.4 bp
日本(10年)	0.732%	+1.5 bp	+1.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.166%	▲10.2 bp	▲17.6 bp
オーストラリア(5年)	3.608%	▲14.6 bp	▲24.1 bp
シンガポール(5年)	2.830%	▲1.6 bp	▲2.6 bp
中国(5年)	2.294%	+0.5 bp	▲8.4 bp
マレーシア(5年)	3.540%	▲0.2 bp	▲2.1 bp
タイ(5年)	2.367%	+1.5 bp	▲5.0 bp
インドネシア(5年)	6.507%	▲1.7 bp	+1.3 bp
フィリピン(5年)	5.987%	▲0.7 bp	▲1.8 bp

インド(5年) 7.076% ▲0.9 bp ▲2.3 bp

ベトナム(5年) 1.450% ▲5.0 bp ▲5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,150.30	▲0.8%	+0.9%
N225(日本)	36,286.71	+0.6%	+0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,648.40	▲0.3%	+1.8%
ASX(オーストラリア)	4,173.06	▲0.4%	+1.3%
FTSTI(シンガポール)	3,153.01	+0.1%	▲0.0%
SSEC(中国)	2,788.55	▲1.5%	▲1.1%
SENSEX(インド)	71,752.11	+0.9%	+1.0%
JKSE(インドネシア)	7,207.94	+0.2%	▲0.3%
KLSE(マレーシア)	1,512.98	+0.0%	+0.6%
PSE(フィリピン)	6,646.44	+0.4%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,364.52	▲0.6%	▲1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,164.31	▲1.3%	▲0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	272.41	▲0.6%	+0.5%
金	2,039.52	+0.1%	+1.3%
原油(WTI)	75.85	▲2.5%	+1.0%
銅	8,511.75	+0.0%	+0.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	—	148.00
EUR/USD	1.0780	—	1.0900
AUD/USD	0.6500	—	0.6650
USD/SGD	1.3340	—	1.3440
USD/CNY	7.1650	—	7.2100
USD/MYR	4.7120	—	4.7500
USD/THB	35.00	—	35.90
USD/IDR	15750	—	15850
USD/PHP	56.00	—	56.60
USD/INR	82.70	—	83.20
USD/VND	24,100	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台前半でオープン。東京時間の朝方公表された日銀1月金融政策決定会合の主な意見における「マイナス金利解除を含めた政策修正の要件は満たされつつある」などの効率的な意見を背景に円買い優勢の流れに。一巡後は実需のドル買いにも支えられて147円台後半まで値を戻し、同水準にて海外時間に渡った。アジア通貨はまちまち。FOMCを控え様子見ムードが強まる中、アジア通貨も動きづらいつい展開となった。

海外市場のドル円は147円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米四半期定例入札は今後の四半期は増額をも見込んでいない事や、米1月ADP雇用統計と米第4四半期雇用コスト指数が予想を下回り、146円台前半まで続落。その後は下げ渋り、146円台後半まで戻す。その後、米1月FOMCの結果が発表され、政策金利を現状の5.25%-5.50%で据え置いた。その後行われたハウエル議長の記者会見の冒頭では、「政策金利はピークに達している公算」等とハ派の発言が先行し、146円台前半まで売られる。しかし、記者会見の終盤でハウエル議長の「3月の利下げの可能性が高いとは考えていない」との発言を受け、147円台前半まで買い戻される等激しい値動きが見られた。その後再び水準を下げ146円台後半でクロス。

【金利】

金利市場はほぼハラルに大幅低下。1月ADP雇用統計は予想を下回り、前回分も下方修正されたことで発表後金利はいったん低下。NY2時に発表されたFOMCでは政策金利の現状維持を決定。ハウエル議長の記者会見において、FEDがインフレ目標の2%を確実に達成するまでは利下げに動かないこと、また3月の利下げについては否定的であることが示された。上記発表を受け、金利はいったんは早期利下げ観測後退より上昇に転じたが、引けにかけてはいずれ利下げに動くとのスタンスには変わらないことが意識され、再度低下して引けた。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想する。昨日はFOMC後に慌ただしく上下する展開となったが、ハウエルFRB議長が3月利下げに否定的な発言をしており、今後確認される米経済指標の結果次第では一段と利下げ織り込みが後退することが想定される中では積極的なドル売りは控えられやすいと考えている。

【本日の予定】

(日本) 1月 製造業PM(確)
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 12月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(アジア) 1月 PM製造業
(アジア) 1月 インド 製造業PMI
(アジア) 1月 インドネシア CPI
(アジア) 1月 中国 Caixin中国製造業PMI
(アジア) 1月 豪 PM製造業(確)
(アジア) 4Q 豪 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(欧州) 12月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 1月 ユーロ圏 CPI(速)
(欧州) 1月 ユーロ圏 製造業PM(確)
(欧州) 1月 独 製造業PM(確)
(欧州) 1月 英 製造業PM(確)
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 12月 建設支出
(米国) 1月 ISM製造業景況指数
(米国) 1月 製造業PM(確)
(米国) 4Q 非農業部門労働生産性(速) / 単位人件費(速)
(米国) 新規失業保険申請件数

